



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2010～2011 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心をつくし、力を合わせて」

◆会長 清水 幸平 ◆幹事 大保木 正博 ◆会報委員長 今井 俊治 ◆会報担当 岩本 正樹

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 876 回	48 名	47 名	41 名	—	87.23%
前々回 874 回	48 名	47 名	41 名	3 名	93.62%

<点 鐘> 会長 清水 幸平
<ソング> 奉仕の理想
<四つのテスト>

<会長の時間> 会長 清水 幸平



本日は広報・雑誌委員会の担当例会です。

「ロータリーの友」3月号に子宮頸癌の記事がありました。ロータリー財団地域セミナーの講演の要旨です。難しそうな内容だったので読まれた人は少ないかと思います。講演者は、吉馴茂子(ヨシナレ シゲコ)八尾中央 RC 現会長です。

子宮頸癌と言えば、公共広告機構の CM で広く知れわたった病気です。私も今まで子宮頸癌について詳しくは知りませんでした。今この子宮頸癌が 20～30 歳代の若い女性に発症率が急激に増加しているそうです。日本では、一日に約 10 人の女性が、子宮頸癌で死亡しているそうです。

この子宮頸癌の原因は HPV (ヒトパピローマウイルス) で、感染はセックスによってのみ頸部に付着するようで、頸癌はまさに性感染症だと話されています。

感染を防ぐワクチンが日本でもようやく許可されました。ワクチンを接種すれば 60～70% ぐらいの効果があるそうです。しかし、このワクチンの費用は約 5 万円かかるそうです。公的支援がぜひとも必要ということでその活動をされたそうです。実際に日本全国の 12 歳の全ての女性に接種した場合には、死亡率を 73% 減少させるとして、社会全体として治療費、医療費が 190 億円削減できるとのことです。

す。今年から公費でワクチン接種が開始されるようになるそうです。高山市でも近いうちに受けられそうです。男性には関わりの薄い病気ですが、娘さんや若い女性のことを考えると他人ごとではありません。

さらに吉馴さんは、日本での性感染症について危惧されています。日本での性教育について疑問を抱き、今の日本では、性感染症が蔓延する下準備が全部そろっていると警告しておられます。

ロータリーの友にはロータリーのことばかりでなく、多彩な記事が掲載されています。義務としてではなく、情報源としてまた楽しみとしてロータリーの友を活用したいものです。

<幹事報告> 副幹事 新宮 一郎

◎国際ロータリー第 2630 地区 ガバナーより

- ・地区補助金の募集と申請について
- ・「ニュージーランド地震災害義援金」のお礼と報告
2630 地区から 2,705,111 円送金しました。
- ・地区大会記録詩送付について

◎ロータリー米山記念奨学会より

- ・ハイライトよねやま号外

<本日のプログラム>

広報/雑誌委員会 水川 委員長



本日は、広報・雑誌委員会の担当例会です。ロータリーの会員の義務の一つに、『ロータリーの雑誌の講読。』という項目があります。

日本においては、『ロータリーの友』が、1980 年 7 月に国際ロータリーから、公式地域雑誌に指定をされています。今年度、ロータリーの友には、高山中央ロータリークラブに関する記事が 4 回掲載されました。8 月号では、パナー

自慢のコーナーで当クラブのバナーが紹介されております。

10月号では、国府中学校での出前講座の記事が掲載されました。又2月号には、平塚湘南ロータリークラブとの中学生の駅伝交流事業、3月号には20周年記念事業の高校生と記念植樹の記事が掲載されております。

本日は、4名の会員の皆様に『ロータリーの友』について、日頃購読していて、印象に残ったことなどを発表していただきます。

<会員スピーチ>

【「ロータリーの友」を毎月読んで学んだ事や必ず読むコーナーなど「ロータリーの友」の活用法について】

堀口 裕之 会員



入会して早一年、本棚にロータリーの友が13冊そろいました。その中の2010ロータリーの友5月号に 特集 災害救援 「そのとき、

ロータリーは……」という特集がありました。

東日本大震災発生から3週間が過ぎ、テレビ等で被災地の惨状を目の当たりにして被害の大きさに茫然とし胸が張り裂けそうになります。

募金はした。節電もした。現地に行きたい気持ちもあるが・・・「今、自分にできること・・・」

考えれば考えるほどため息が出る。

そんな時、特集 災害救援の記事を見つけました。「毎月読む中で」との本日のテーマからははずれるかもしれませんが、記事の紹介をさせていただきます。

その特集記事の中で、2009-10RI 会長ジョン・ケニーは『ロータリーは災害救済機関ではありません。しかし、私たちは長期にわたる復興を得意としています。報道関係の関心がなくなった後も、ロータリーはそこにいます。ハイチの事例では、17の地元クラブとそれらを助けようとする何千ものクラブがあります。もし、バングラディッシュ、ホンデュラス、インドネシア、そのほか、数えきれないほどの国々での復興活動を例に考えるならば、人々の関心が消え去り、メディアが立ち去った後も、ロータリアンたちはハイチにいます。』と述べております。

また、続いてジョン・ケニーは**震災前より良いものを生み出す**と題して

『多くの国々、震災後の復興を援助した国々、地域で、失われたものを元に戻すだけでなく、それと同様、より良いものを生み出したロータリーの成功例を知ることができます。』

窮地に立たされた人々への援助するロータリアンたちの情熱は、私たちの粘り強さと草の根的な存在とあいまって、震災のために引き裂かれたこれらの人々の暮らしに希望をもたらし続けるでしょう。』と述べております。

阪神淡路大震災のあと、神戸の叔母が『震災でくちゃくちゃになってもうたけど、今は見違えるようなきれいな街になったでえ、一度あそびにおいて、ほんまにきれいやで』と笑顔で語ってくれたことを思い出します。

東北地方の海辺も神戸のように復興することを信じ、今後のロータリーの友における東日本大震災復興の特集記事やロータリアンの活躍の場があることを期待します。

ご清聴ありがとうございました。

【ロータリーの友を読んで思う事】

坂家 賢司 会員



多種さまざまなコンテンツがあり、全てを熟読すれば良いのですが、グローバルな部分は、むずかしそうで、ついつい絵や写真に目が止まります。近頃、

老眼が入り小さく見えにくいのかもかもしれませんが・・・。その点から言いますと全国各地にて行われている活動を紹介しているロータリーネットワークが良く目につきます。

地域イベントに積極参加町内盛り上げた尽力するクラブ、街の美化活動するクラブ、壁の落書き消し他、城山清掃、ポリオ撲滅運動するクラブ、成少年のスポーツ振興に力を入れるクラブ、中山中の駅伝等々。

高校生の就職希望者を対象に面接の実践、中学校への出前講座、障害児と日帰り旅行(ブドウ狩り)をプレゼント(スキー、そりあそびもそうでしたが・・・気持ちが入りすぎて支障をきたす。)

高山中央でも、行っている事ですね、しかし、やっぱり全国でもいろいろ考え、活動をしているんだなあと思いました。

【「ロータリーの友」の感想】

下田 徳彦 会員



本日はスピーチの場を与えていただきありがとうございます。スピーチのために開いてみたのが正直なところですが、

以前高山ロータリーにメーキャップした時に、「ロータリーの友」の担当者がみえ、何ページにはこんな記事でためになったとか、またこんな記事が面かったなど、抜粋して説明されてみえ、とても参考になりました。

横書きページと縦書きページがあることは知っていましたが、ロータリーの今年度のテーマである「地域を育み、大陸をつなぐ」という意味では、横書きページでは本当に「大陸をつなぐ」という世界とのつながりを感じます。世

界レベルなグローバルで壮大な話や、ポリオ等の問題など国際的な役割の大きさを改めて痛感します。また縦書きページでは国内の地域の活動が細かく記載され「地域を育む」という各地でのロータリー活動と役割がよく理解できます。たまに地元や高山中央ロータリーの事業などが紹介されると、テーマの「地域を育み、大陸をつなぐ」のように世界はつながっているんだと思います。

私自身まだまだロータリアンと言える人間ではありません。気持ちにも余裕がなく自分の身の回りのことだけでいっぱい、いっぱいなのが現状で、奉仕のレベルに達していません。実際心に余裕がなければ奉仕という話にはならないと思います。ロータリーの崇高な精神には、勉強させられることが多く、多くのロータリアンと交流し、ロータリー活動に深く関わり、人間的に成長していくと「ロータリーの友」の価値が理解でき、興味ある冊子になるのかと思います。

奉仕の心で社会活動が出来るような人間へ成長してこそ「ロータリーの友」が面白い、毎月の発刊が待ち遠しいというレベルに成れるのではと思います。そのためにも人間力を高めていきたいと思っています。

【ロータリーの友の歴史】

三枝 祥一 会員



第 2 次世界大戦で中断していた、日本のロータリークラブは、1949 年（昭和 24 年）3 月に、東京ロータリークラブが正式に国際ロータリーに復帰し、その後着実に、全国に広がって行きました。

1952 年に、東日本と西日本の 2 地区になったのを機に、共通の雑誌を発行することになり、ロータリーの友が出来ました。また、新しい雑誌についていろいろと決めたところが、岐阜の長良川河畔にあった大竹旅館での会合で決められま

した。ロータリーの友が大変岐阜に関係した事を知りました。

その内容の一端は、1 冊が 50 円、広告をとって 100 円分の内容のある雑誌にすること、当時では画期的な横書きにすることなどが決められました。

縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれたようですが、会員の投票をして 2 対 1 で横書きになったそうです。当時のロータリアンがいかにか先進的は考えを持っていたかがわかるエピソードです。

その後、俳壇、歌壇など横書きでは具合の悪い欄が始まりましたので、1972 年（昭和 47 年）に、現在の左から開けると横書き、右から開けると縦書きになったわけです。国際ロータリーの公式地域雑誌になったのは、その 1 年後です。

公式雑誌には、いろいろな要件が定められており、毎年、年度の始まる 7 月号には R I 会長の写真を掲載するなどがあります。

世界各国には、さまざまな公式ロータリー雑誌があります。機会があればぜひお読みいただきたいと思います。

<4 月のお祝い>

おめでとうございます

☆会員誕生日☆

松之木 映一	S 2 5 年 4 月 7 日
劔田 廣喜	S 2 4 年 4 月 1 8 日

☆夫人誕生日☆

三輪 義平	美代子	4 月 2 2 日
-------	-----	-----------

☆結婚記念日☆

下田 徳彦	H 1 1 年 4 月 4 日
清水 幸平	S 5 6 年 5 月 5 日
坂家 賢司	S 6 0 年 4 月 5 日
岩本 正樹	S 6 1 年 4 月 6 日
橋本 修	S 4 9 年 4 月 7 日
中田 学	H 4 年 4 月 1 1 日
富士井忠男	S 4 3 年 4 月 2 0 日



<ニコニコBOX>

この度の、東日本大震災により亡くなられた方、及び被災された方々に心より御悔やみと御見舞いを申し上げます。さて、多少の被害はあっても、全く被災していない私達は日本復興の為に、無意味な自粛は止めて経済活動を活発化させましょう！！ガンバロウ日本！！ 島 良明

3.11 の大震災時に、東京にいる子供とは連絡がつかなくなりましたが、2 人ともスマートホン昨年持たせたため、Skype、Twitter 等のソーシャルネットワーキング・サイトにより連絡を取ることが出来ました。テレビでも同様の事が報道されていました。世界中、日本中のロータリークラブの多くがフェイスブックに登録し広報活動に活用しています。来期に向けて、試験的に作ってみましたのでアクセスしてみてください。どなたでも書き込み出来ます。

高木 純

4 月 3 日一宮の水無神社の「生きびな祭り」に長女が内裏様役に選ばれ参加させていただきました。親バカかもしれませんが、私もカメラを片手に生まれて初めて「生きびな祭り」を見に行ってきました。また、本日は、広報/雑誌委員会担当例会です。スピーチをお願いしました 4 名の皆様宜しくお祈りします。 水川 巧

先週の服部パストガバナーの例会には 9 0 % 以上の出席を頂きありがとうございます。また、妻の誕生日にはお花が届きました。重ねてありがとうございます。

新井 信秀